

感染症ニュース

No.221 2023/09/15

文責：竹鼻 純子

<流行中の感染症>

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

富山県での定点報告の感染者数は、2学期の開始とともに、さらに急速に増えており、小・中・高校での学級閉鎖も報告されている。9月下旬からは、現在の主流株であるオミクロン株 XBB.1.5 に対応した新しいワクチン接種が始まる予定であるが、今後も高齢者の重症化予防のためのワクチン接種や、高齢者施設などでの徹底した感染予防策の継続は必要である。感染拡大を最小限にするために、普段の生活でも基本的な予防策を継続し、手洗いに加え、特に3密となるような場面ではマスクを着けることが推奨される。

インフルエンザ

2学期の開始とともに全国で流行が拡大しており、富山県内でも、すでに2つの小学校で学級閉鎖が出ている。A 香港型が主流で、感染力も強く、症状も激しい。

ヘルパンギーナ、手足口病

夏に多い感染症で、発疹が口の中だけにできるのがヘルパンギーナ、手・足・口にできるのが手足口病である。高熱や痛みで飲食ができず、脱水症になったり、髄膜炎や脳症を合併したりすることもある。ウイルスは便中にも1カ月間存在する。

感染性胃腸炎

ウイルス性胃腸炎の代表であるノロウイルスにはアルコール消毒は無効なので、アルコールによる手指消毒を過信せず、石鹸による手洗いを徹底することも重要。気温と湿度が高い時期は、細菌による食中毒にも要注意。

溶連菌感染症

発熱、のどの痛み、発疹が主症状で、小児のみならず成人の感染も多い。例年、秋から冬を通して春先にかけて流行するが、今年は感染予防策が緩やかになった5月から流行が続いている。再感染や再発例も多い。

アデノウイルス感染症 (プール熱、咽頭結膜熱)

急な発熱が数日続くが、比較的元気なことが特徴で、のどの痛み、眼の充血や目やにを伴うこともある。夏に流行しやすく、感染力が非常に強いいため、要注意。